

市民力があふれ、住んでみたいと思える まちづくりに向けて



新年あけまして
おめでとございます

市民の皆さまにおかれましては、
健やかに新年をお迎えのことと、心
からお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、市の
一大イベントとなりました「ご当地
グルメでまちおこしの祭典―B―1グ
ランプリin十和田」が、2日間で延
べ33万4千人の来場者で賑わいまし
た。約5500人ものかたがボラン
ティアスタッフとして活動いただく
など、市民一丸となったおもてなし
により、大盛況の下、無事に終える

ことができ、また、全国に当市を發
信することができました。皆様のご
支援、ご協力に心から感謝申し上げ
ます。特に将来を担う小中高生の活
躍は素晴らしい、訪れたかたに感動
を与えるなど、当市にとりましても、
市民にとりましても、また、子ども
たちにとりましても、大きな心の財
産になったことと思います。当市の
「市民力」をあらためて実感いたし
ました。

また、多くの家族連れで賑わって
いる「十和田市馬事公苑（駒っくら
ンド）」の来場者が9月に百万人を
突破したことは喜ばしい限りです。
10月に設計者の安藤忠雄さんをお
迎えし、グラントオープンした「教
育プラザ」は、旧図書館の約3倍の
来館者にご利用いただくなど、新た
な交流の拠点として、出会いの場を
創出することができました。この

「教育プラザ」は、西沢立衛さん設
計の現代美術館、隈研吾さん設計の
市民交流プラザとともに、建物によ
る新たなまちの魅力発信につながる
ことを期待しているところでありま
す。

このほかにも、市民の健康づくり
事業としてはじめました「夏のとわ
だエンジョイウォーク」には300
人を超える市民の皆さまの参加があ
り、新市誕生10周年を記念して行っ
た健康都市宣言にちなんだ取り組み
を実施することができました。1月
30日には「冬のとわだエンジョイ
ウォーク」も企画しておりますので、
ぜひご参加いただき、自らの健康づ
くりのきっかけにして頂ければと思
います。

新しい年を迎えましたが、多くの

特に建設から50年を経過しました
市役所本館の建設につきましては、
市民の皆さまにとって使い勝手の良
い、市民に愛される市役所として、
来年の3月までに実施設計、平成31
年度の完成に向け進めてまいります。
今年度は、十和田八幡平国立公園指
定80周年の年でもあります。これを
記念し、国、県と連携して記念事業
を実施し、市民の皆さまとともに80
周年をお祝いしたいと思っております。

3月には、いよいよ北海道新幹線
が開業し、新函館北斗駅まで結ばれ
ます。函館には、海外からの観光客
が多く訪れておりますことから、

自治体において、人口減少、少子高
齢化が進展する中、持続可能な地域
づくりのためには、特徴を生かして
魅力あふれるまちを築く「地方創
生」が喫緊の課題となっております。
当市では、この課題に対処していく
ため、「地域における安定した雇用
を創出する」、「地域への新しいひ
との流れをつくる」、「若い世代の
結婚・出産・子育ての希望をかなえ
る」、「時代に合った地域をつくり、
安心な暮らしを守るとともに、地域
と地域を連携する」という4つの柱
からなる地方版総合戦略を策定し、
移住・定住対策や少子化・子育て支
援など諸施策を実施してまいります。

また、老朽化した公共施設につ
きましては、来年度に将来を見据えた
公共施設等総合管理計画を策定し、
計画的な施設整備に努めてまいりま
す。

これを機に更なる誘客に力を入れて
まいりたいと考えております。

本年も交流人口の多い、これから
も住みたいまち、住んでみたいまち
づくりを目指し、取り組んでまいり
ますので、市民の皆さまのご協力を
お願いいたします。

年頭にあたり、市民の皆さまのご
健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、
新年のごあいさつといたします。



十和田市長 小山田 久

Oyamada Hisashi

